

義江龍一郎学長が日本風工学学会 学会賞（論文賞）を受賞

義江龍一郎学長が日本風工学学会 学会賞（論文賞）を受賞されました。

対象論文は「風環境評価のための標準上空風データの整備に向けた領域気象モデル WRF の検証」で、ビル風等の風環境評価に用いられる風向、風速の基準となる情報として標準上空風データを整備し、従来の観測記録を用いた評価において問題となっていた観測地点周辺の局所的な影響を避け、安定的にビル風評価を可能にするための研究をまとめたものです。これらの成果はビル風等の風環境評価に大きな貢献をもたらすことが期待されており、将来的に領域気象モデルが風工学分野で応用されるための大きな貢献であると評価され、今回の受賞となりました。

